

第十七回 白洲灯台と岩松助左衛門



提供：第7管区海上保安本部 岩松海上保安部
現在の白洲灯台

北九州市沖の響灘に浮かぶ藍島南端から西2.7キロの浅瀬「白洲」。古来、行き交う船を苦しめ、多くの命を奪った。その浅瀬には今、海面からの高さ16メートルの白洲灯台が立ち、船人を安全な海路に導いている。建立を発案し実現に尽力したのは江戸時代末期、小倉藩企救郡長浜浦（現北九州市小倉北区長浜町）庄屋だった岩松助左衛門（1804〜1872）。庄屋役を長男に

譲った文久元年（1861）、藩から海上御用掛、難破船支配役を命じられ、海難事故があるたびに近隣の漁師らを動員して遭難者の収容、救助、積み荷の保管などに当たった。庄屋時代からも船の難破、悲惨さを見続けてきた助左衛門はこれを機に、「海難防止に絶対必要」と翌年4月、藩に白洲灯籠台築立願書を提出、許可を受けた。

苦難相次ぐ

だが、本当の苦労はこれから。建造費捻出に船主、荷主、漁師らへ募金協力を仰ぎ、自らも百二十両もの大借金をして費用を負担した。その最中の1866年、第2次長州征討で小倉藩は小倉城を自焼して香春に去り企救郡は長州藩政下に。助左衛門は灯籠台建設願いを同藩に出し直した。同藩の許可が出たのも束の間、

明治3年には企救郡は日田県の管轄となり、今度は県に伺い書を出した。周辺への募金協力依頼について当初は反対の声が圧倒的だったという。遭難事故で漁民は救助に出動するたびに藩から手当を得られ、場合によっては積み荷の一部も手中に出来る。灯籠台で事故が減れば生活にも影響する、という訳。昭和38年の初演以来、白洲灯台と助左衛門を題材にした劇を上演している劇団「青春座」代表井生定巳さん（76）は「助左衛門も事情は充分承知のうえです。誇りです」と話している。

かくの資金を持ち逃げされる。シニアスタッフ 村田和夫



小倉城内に立つ白洲灯台岩松翁記念塔

10年ごしの悲願 死後に実現

などの難もあつたと聞きます。すごい人がいたものです」と感嘆する。

明治5年3月、新政府は「助左衛門の個人的な事業であってはならない」と国の事業として建設に着手した。同年4月25日、助左衛門は灯台の灯りを見る事が出来ないまま病で生涯を閉じ、悲願の灯りは

明治6年9月1日、白洲に灯った。長浜町には助左衛門の生家の旧庄屋建物が現存する。岩松助左衛門翁顕彰会の荒木正弘さん（76）は「今、毎年4月の顕彰祭には町外からの参加も増えています。保存、伝承活動で助左衛門の人物、業績が見直されているのでし

イベントカレンダー

| | | |
|-----|--------|--|
| 12月 | 1日～25日 | 到津の森のクリスマスフェア 到津の森公園 |
| | 2日～4日 | 若松えびす祭 秋季大祭 若松恵比寿神社 |
| | 10日(土) | ドリームひろば2016～城野のまちで第九を歌おう～ 小倉商業高等学校 |
| | 10日11日 | 第8回 門司シネマフェスタ 開場 9:30 門司市民会館 |
| | 15日(木) | しびきせ祭 薬師寺 隠徳庵 |
| | 31日(土) | 門司港レトロカウントダウン2017 門司港レトロ中央広場 22:30～0:30 雨天決行 荒天中止 |

| | | |
|----|----------|--|
| 1月 | 8日(日) | 八日座祭 (尻ふり祭) 井手浦公民館 |
| | 8日(日) | 平成29年北九州市消防出初式 9:30～11:45 荒天中止 関門海峡ミュージアム横サンセット広場 |
| | 10日(火) | 小倉十日えびす祭宝恵かご道中 小倉都心部 |
| | 10日(火) | 脇之浦はだか祭 脇之浦漁港付近 |
| | 23日～2/26 | 特別展「高倉健」 北九州市立美術館分館 |
| | 28日(土) | 和布刈神事 2:30～ 和布刈神社 |